

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

きゅうり生産農家

佐藤 清和 さん

久美子 さん (保原町)

昨年、第60回福島県農業賞を受賞するなど、夏秋きゅうりの大産地伊達市を支えるお二人。父の跡を継ぎきゅうりの生産を始めて19年目。栽培・品質管理に力を入れ、次世代につなごうとしている。



毎日が勉強

きゅうりの生産を始めて19年目となりますが、教えてもらうことばかりです。自然相手で、きゅうりは生き物です。その状態を毎日確認しながら作業をしています。近年は、異常気象が多発していますので、特に気象には特に気を付けています。ハウスできゅうりを栽培していますので、気象の変化には対応しやすいですが、肥培管理、水量、消毒、病気など、日々変わる変化に気を付けて対応しています。

家族との会話

きゅうり生産は、朝早かったり、暑い中での作業が多く大変なことも多いですが、朝食、夏休み期間中なら昼食も家族で一緒に食べますので、自然と家族の会話があること、そして、ある程度時間の融通も利くので、孫の送迎など、家族で過ごす時間が取れるのでうれしいです。

産地として情報交換

今でもわからないことがあったら、きゅうり農家の仲間に聞いたりして、お互いに情報交換を行っています。月に一度、指導会では、J Aや県農業普及所の担当者から情報の提供を受け、その中で積極的に情報交換を行っています。現在は、産地としての意識が強くなってきていますので、お互いに情報を教えあつて、産地としてきゅうり生産に取り組んでいます。

最近の後継者が跡を継いで、新規就農者も増えていますがまだ足りません。後継者や新たな人材を確保して、技術を伝えていくことが、私たちの役目だと思います。

